

課題名：肺 MAC 症の初回治療におけるアミカシン静注併用の
有効性と安全性の臨床的検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、肺 MAC 症の診断となり、初回治療としてマクロライドを含めた標準治療に加えてアミカシン(AMK)静注を併用した際の有効性と安全性を検討しています。本研究では、肺 MAC 症の初回治療におけるアミカシン静注の有効性と安全性を評価し、今後によりよい肺 MAC 症診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2021年9月から、2024年7月までの間に、肺 MAC 症であると診断され、初回治療導入としてマクロライドを含めた標準治療に AMK 静注を併用し治療を開始した方。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、身長、体重、BMI、基礎疾患、Performance Status (PS)、肺 MAC 症診断日、喀痰培養検査結果(塗抹、培養)、菌種(*M.avium*、*M.intracellulare*、MAC)、クラリスロマイシン(CAM)の最小発育阻止濃度(MIC)、AMKのMIC、治療開始前後のCT所見(病型、改善の有無)、AMK投与量、AMK使用期間、AMK投与後の排菌陰性化有無、排菌陰性化例では再排菌の有無と再排菌時期、耳鼻咽喉科診察による聴力スクリーニング結果、MAC 症治療による有害事象、AMK 中断有無とありの場合その有害事象、フォローアップ期間、生存の有無

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2025年12月15日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できることがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

呼吸器内科 研究責任者 寺元 智希

E-mail : kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によつて当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※ 【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- ・研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
(他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。)
- ・研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- ・研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- ・研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明